

**具体的な施策・重要業績評価
指標（K P I）進捗状況評価票
（地方創生関連交付金対象事業）
【対象：平成 28 年度】**

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:平成 28 年度)

事業名	ラグビーのまち府中推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	政策課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーを新たな地域資源として捉え、様々なイベントの実施などによりラグビー人気の定着を図るとともに、PR活動の推進、市内の子どもたち向けラグビー教室の開催などにより、市内外において「ラグビーのまち府中」のイメージを確立させます。 ・「ラグビーのまち府中推進委員会」を立ち上げ、イベントの実施などを官民協働で実施することで、まちの賑わいづくりにおける共通認識とビジョンの共有を図り、将来の中心市街地活性化および商業の活性化に繋がります。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標 (H28 年度)		目標 (H31 年度)		
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
ラグビーに関連する特産物や商品、飲食メニューの開発 (市内ラグビー関連スポット)	件	5		20		
		0	3			
		平成 27 年度の実績	B			
市内でのラグビー関連イベントの参加者	人	5,000		10,000		
		1,500	7,500			
		平成 27 年度の実績	A			
大学やトップチームと連携するラグビー関連事業数	事業	2		3		
		2	5			
		平成 27 年度の実績	A			

	休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人	現状値以上			
			19,378	15,586		
			平成27年度の実績	C		

- 進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成28年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>・平成28年度は、市内関係団体一丸となってラグビーを活用したまちづくりを推進するため、ラグビーのまち府中推進委員会を設立し、各種事業を展開した。</p> <p>「ラグビーに関連する特産物や商品、飲食メニューの開発」については、観光協会の仲介により、市内菓子事業者によるオリジナル菓子（2軒）の作成・販売のほか、オリジナルトートバッグを作成し、イベント等を通じて市内外に販売、PRすることができた。</p> <p>「市内でのラグビー関連イベントの参加者」及び「大学やトップチームと連携する事業数」については、近隣自治体及び大学と連携したラグビーフェスティバルや、市内チームと連携した府中ダービーマッチ、ラグビーのまち府中デーの開催など、様々な事業を展開することにより、市内外からの集客、地域活性につなげることができた。</p>
B	
【平成29年度における取組など】	
	<p>・継続してラグビーのまち府中推進委員会を中心に、前年度の事業を継承、拡大し展開を図っていく。</p> <p>「ラグビーに関連する特産物や商品、飲食メニューの開発」については、引き続き、市内菓子店等と連携し、商品開発を進めるほか、市内飲食店と連携し、飲食メニューの開発な幅広い事業展開を進めていく。</p> <p>「市内でのラグビー関連イベントの参加者」及び「大学やトップチームと連携する事業数」については、引き続き近隣自治体、大学及びトップチームと連携し、各種イベントを実施するほか、市民を交えたまちづくりカフェ（ワークショップ）の開催など、新たな視点、アイデアを取り込んだ施策展開を検討する。</p>

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:平成 28 年度)

事業名	中心市街地活性化事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課	
事業概要	<p>・ J R A 東京競馬場の来場者を中心市街地へ呼び込むための取組として、購入した馬券を提携店舗で提示することでサービスが受けられる「東京競馬応援サポーターズ事業」を実施しています。この事業の取組回数の拡大および効果的な P R 方法の検討により認知度を向上させるとともに、提携店舗を増加させることにより来場者の多様なニーズに応えられるような環境を整備することで、J R A 東京競馬場来場者の中心市街地における飲食を促し、商業の活性化を図ります。</p>	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標 (H28 年度)		目標 (H31 年度)		
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
東京競馬場ティアップ参加店舗数	店舗	20		100		
		17	100			
		平成 27 年度の実績	A			
東京競馬場ティアップ来店数	組	200		16,000		
		104	17,190			
		平成 27 年度の実績	A			
休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人 / 日	現状値以上				
		19,378	15,586			
		平成 27 年度の実績	C			

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成28年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<ul style="list-style-type: none"> 本市の中心市街地に近接する一大集客施設「JRA東京競馬場」への来場者を中心市街地に呼び込むための取組として、グルメサイト「食べログ」との協働による「冊子 de おトクにグルメキャンペーン」を実施した。 駅・車両におけるポスター・中吊り広告の掲示や食べログサイトでのバナー及びクーポン冊子の作成など、あらゆる媒体を用いた認知向上施策の展開により、当初の想定よりも大変多くの方にご利用いただいた。
A	<ul style="list-style-type: none"> 協力店舗からも新たな集客につながる施策として評価をいただき、今後の取組に対する期待が高まった。
【平成29年度における取組など】	
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に実施した「冊子 de おトクにグルメキャンペーン」では、JRA東京競馬場で取得したクーポン冊子のQRコードをスマートフォンなどで読み取り、協力店舗で提示することでサービスを受けることができるという内容であったため、JRA東京競馬場から中心市街地への呼び込みに一定の効果があったものの、中心市街地内の回遊性に関する評価に課題があった。そこで、平成29年度は協力店舗間での回遊性強化を図るべく、「府中ぐるめぐりクーポン&スタンプラリー」を実施する。概要としては、東京競馬場及び各協力店舗に掲示するポスターのQRコードを読み取ることでクーポンとスタンプを獲得するものである。中心市街地を複数のエリアに分け、各エリアにおいてスタンプを獲得することでプレゼントに応募することができる。複数のエリアの店舗を回っていただく仕掛けづくりを行うことで、中心市街地内での回遊性強化を図る。 	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:平成 28 年度)

事業名	百人一首かるたコンテンツを活用した観光誘客推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進	
主担当課	経済観光課	
事業概要	・国内外で普及しているかるたコンテンツやかるたを題材とした人気漫画「ちはやふる」を活用し、同作品ゆかりの地である滋賀県大津市、福井県あわら市、東京都府中市の3市と、関連企業、商業施設などが官民で連携することで、かるたコンテンツを発信し国内外からの観光客を誘致します。	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標				
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
京王線府中駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		85,279	88,100			
		平成26年度の実績	A			
京王線分倍河原駅における1日の乗降人員	人	現状値以上				
		89,249	92,493			
		平成26年度の実績	A			
府中市主要観光施設 (観光情報センター・観光物産館・郷土の森博物館・美術館・JRA競馬博物館・サントリー武蔵野ビール工場)観光入込客数	人	1,000,000				
		819,625	956,817			
		平成27年度の実績	A			

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成28年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>・府中市への観光客の誘致と、競技かるたの普及啓発を目的とし、事業を実施した。現在連載中の人気漫画「ちはやふる」の魅力を活用し、作品の舞台として登場する府中市のPRと、作品の題材となっている競技かるたの普及啓発を行った。事業内容として、ちはやふる（原作・アニメ・実写映画）の複製原画展、資料展示や、当時の現かるたクイーンをはじめ、作品のモデルにもなり実際に府中市内で活動しているかるた会による模範演技や、アニメ声優、監督、ディレクターらによるトークショーを実施した。さらに、人気漫画「ちはやふる」の舞台となった片町文化センターで初心者かるた大会を開催するとともに、競技かるたを紹介するボードを掲示した。</p> <p>また、作品の舞台として登場する「大津市」と「あわら市」との「三市連携」として観光PRビデオの放映や、各市のお土産品の販売を行った。</p>
A	
【平成29年度における取組など】	
<p>・平成29年度の実施事業として、引き続き片町文化センターで初心者かるた大会を開催するとともに、競技かるたを紹介するボードを掲示する。また、実写映画版の続編が平成30年の春に公開予定となっており、その時期に併せて事業を実施する予定である。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:平成 28 年度)

事業名	市有財産の活用による中心市街地活性化に向けたまちづくり推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	財産活用課、経済観光課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による市有地活用のための民間事業者の募集および契約に当たり、助言や支援を受けるためのアドバイザー業務を委託し進めます。 ・中心市街地における「にぎわいの創出」と「回遊性の向上」を図るため、商業者等が一体となった取組を中心的に推進するまちづくり府中へのスタートアップ支援や、活動目的であるエリアマネジメントの推進に向けた支援を行います。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標				
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
府中駅周辺公共施設の再編に伴う新たな活用を行う施設数	件	2				
		0	0			
		平成 27 年度の実績	A			
休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人	現状値以上				
		19,378	15,586			
		平成 27 年度の実績	C			
大規模商業施設の年間販売額	億円	353				
		339	334			
		平成 27 年度の実績	B			

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成28年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>中心市街地の活性化に向け、市有地活用の可能性を最大限に高めるとともに、民間事業者にとっても参入しやすい状況を整え、官民双方にメリットを生み出すため、府中駅周辺のニーズ等の的確な把握、現状や課題の洗い出しを踏まえたサウンディング型市場調査を実施し、府中グリーンプラザ及びふれあい会館敷地の活用方針策定に向けた条件の整理を行うことができた。</p>
B	<p>平成28年12月には一般社団法人まちづくり府中が設立され、その設立に向けた登記費用等の補助を行うとともに、まちづくり会社設立後の初期費用及び資金として出資を行った。</p>
【平成29年度における取組など】	
<p>平成28年度に実施したサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、府中グリーンプラザ敷地活用方針を策定し、今年度中の活用事業者の決定に向け、募集要項等の作成・公表等を行った。また、ふれあい会館敷地については、サウンディング型市場調査では、民間事業者が既存建物を解体した上で分譲マンション等を建設するという提案が多くあり、民間事業者の活用の可能性については十分あるものと判断できた。しかしながら、当該土地の売却を市が行うことによる影響等（学区内小学校の教室不足の現状や、マンション建設に伴う児童等の人数の増加など）を検証し、検討した結果、市による活用を図っていくこととした。</p> <p>中心市街地の活性化に向けた経済活力の向上や回遊性の創出を図るため、未利用市有地の活用や実証実験を行うとともに、東京競馬場とのタイアップ事業について、民間事業者による新たな発想に基づく効果的な事業につなげることを目的に、まちづくり府中への委託を行う。</p>	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。